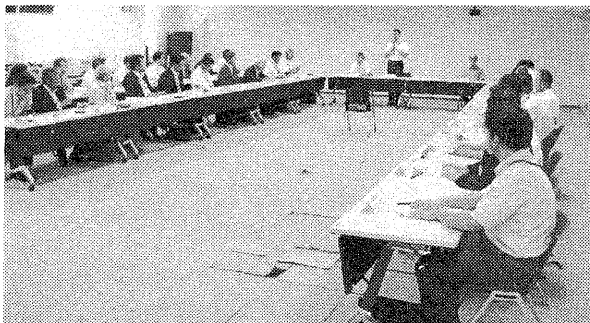


13年度は延べ24件予定

北陸地方整備局は、同局発注工事で情報化施工を活用する場合に特記仕様書に記す「発注者指定型の情報化施工導入工事」の取り組みについて、13年度は発注済みを含めて現時点で延べ24件を予定していることが分かった（表参照）。複数の情報化施工技術を用いる現場も含んでいる。2日に同局内で開いた北陸情報化施工推進委員会（委員長・木村邦久北陸整備局企画部長）と、その下部組織で実務を担当する研究会との13年度合同会議で明らかにした。



2日に開かれた北陸情報化施工推進合同会議

3月と5月の
通達に沿い推進

会合では、13年度の情
報化施工普及に向けた活
動計画と、12年度の活動
報告も承認した。

13年度は、国土交通省が今年3月に通達した

「情報化施工技術の使用原則化」、5月に通達した「情報化施工技術の一般化・実用化の推進」に記された内容を基に情報化施工を推進する。

3月の通達では、13年

は、1万立方メートル未満の土工①が60%（12年度活用率を含む）、工事②に拡大③T Sと全地球航法衛星システム（GNSS）による縮④が15%（実績なし）、め固め管理技術⑤MCと重機操作をサポートする⑥が15%（3%）に、実マシンガイダンス（MG）⑦用化検討技術が15%（8

工種	情報化施工技術	件数
土木	①TSによる出来形管理技術(土工)10,000㎡未満	4
	②TS・GNSによる締め固め管理技術	5
	③MC・MG(ブルドーザー)技術	4
	④MG(バックホウ)技術	2
舗装工	⑤MC(モーターグレーダー)技術	5
	⑥TSによる出来形管理技術(舗装工)	4
計		24

契約済みおよび入札公告済み工事

事務所名	工事名	技術
富山 河川国道	宮袋築堤護岸工事	(2)③
	川口築堤護岸工事	(2)③
	入善黒部バイパス犬山道路その7工事	(1)
金沢 河川国道	小松バイパス連代寺津波倉舗装その1工事	⑤
	小松バイパス連代寺津波倉舗装その2工事	(5)

の情報化施工ガイドを改訂する。今年3月と5月の国交省通達に沿った改訂が柱となる見通しで、これから関係要領に改訂があった場合は、それに合わせて内容を変更する。

改訂版は北陸整備局のホームページに掲載する。情報化施工活用現場と各現場別の工万事例も収集する。集めた事例は公表する予定。

3県で開催

毎年行っている情報化
施工見学会とセミナーは
継続する。見学会は9月
12月に新潟、富山、石川
の3県で開く。セミナー

メンバーに3団体が加盟

日本測量機器工業会、日本建設機械レンタル協会、北陸支部、日本建設機械レンタル協会新潟支部の施工を県工事で活用する

の企業に受注機会を与えるための分割発注を止めるわけにはいかない」という意見が挙がった。

工事の出来形管理にトータルステーション(TS)によるブルドーザー制御技術④MGによるバックホウ制御技術⑤マシンコントロール(MC)による

はさらに増えることが予想される。

バーとして両会に加入している新潟、富山、石川の3県と新潟市は会員として現在行っている多く

るが、そのためには現在の発注施策を変更せざるを得なくなる。入会した（重点目標）として5項の発注施策を変更せざることを目指す重点技術 T S による舗装工の出来形管理技術を実用化検討

北陸版情報化
施工ガイド改訂

整備局の発注者指定型導入

いというのが実情のよう
だ。

5項目の内容は、①T
S活用の出来形管理技術

北陸整備局は、5項目と実用化検討技術の13年

報化施工の導入環境整備と推進策として、北陸版

要だ」と述べた。

建設工業新聞

【建設ICT】

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 日 經 | 2. 朝 日 | 3. 每 日 |
| 4. 読 売 | 5. 岐 阜 | 6. 中 日 |
| 7. 産 経 | 8. 静 岡 | 9. 伊 勢 |
| 10. 中部経済 | 11. 建 通 | 12. 日刊工業 |
| 13. 建設通信 | 14. 信濃毎日 | 15. 日本海事 |
| ⑬建設工業 | | |